

平成30年度 第3回 御殿場市中小企業振興推進会議 議事概要

平成31年2月14日開催 14:00～15:00

御殿場市役所東館201会議室

※委員9名出席（全11名）

1 開会 （全体進行：御殿場市商工振興課長）

2 情報提供

(1) 緊急経済対策の検証結果報告について

（説明：商工会）

(2) 空き店舗調査の実施報告…資料3-1

（説明：事務局）

(3) 平成31年度中小企業関連事業の紹介…資料3-2

（説明：事務局）

（質疑等）

芹澤委員長 （移住支援金について）4月以降に実施なのに、まだ内容がはっきりしていない部分が多いのか。

事務局 そうです。

芹澤委員長 申請はどのようにするのか。

事務局 申請は市が窓口になる。

芹澤委員長 一括で60万円とか補助金が入ってくるのか。

事務局 一括で入る。

芹澤委員長 商売をやっている人の子どもが東京で勤めていて、帰ってきてそこに就職した場合ももらえるのか。

事務局 その場合はもらえない。親族が役員の企業に就職するのは対象外となる。

大川副委員長 中小企業側もマッチングサイトに掲載していなとだめということか。

事務局 そうです。掲載する企業は県が選定するということになっている。

戸栗委員 東京で勤めていた人が、親の介護等で地元に戻ってきて、例えばデザイナーのような人が地方で起業したいということがあるかもしれないが、それをどこまで拾えるかだと思う。

事務局 5年間東京に在住ということだが、大学を4年間で卒業した人は対象とならないが、留年して5年いた人は対象となるなど、かなり微

妙な部分はある。

戸栗委員 起業の場合は社会的事業とあるが、ここも微妙なところだと思う。

勝又委員 プレミアム付き商品券の方だが、対象者の「子どもがいる世帯」というのは、子どもがいれば非課税でなくてもいいということか。

事務局 そうです。

芹澤委員長 非課税世帯など調べたりするのも大変だと思うが。

村松委員 商工振興課だけではデータがなくできない。他の部署と協力する。それと商工会にもいろいろと絡んでもらいたい。

芹澤委員長 協力はするが受付はできない。前回の商品券は誰にでも売ることができたが、今回の場合はチェックできない。

勝又委員 個人情報取り扱いにも影響する。

芹澤委員長 市で引換券を発送して、そのデータを商工会で持つことはできない。市ですべてやるか、市で証明書をもった人だけ商工会で販売するとか、その程度のことはできるかもしれない。

村松委員 店舗の募集もお願いしたい。他にもかなりの人が関わらなければできない。

芹澤委員長 商品券を3月までに回収するのも大変。

事務局 3月までに回収できなければ繰り越しはできる。

芹澤委員長 販売期間としては、3月まで販売しないといけないのか。

事務局 そこは市で決めていいということになっている。

事務局 いずれの事業にしても、国で制度設計してそれが市におりてくる。制度そのものが非効率であったり、皆さんの手を借りなければならぬものであったりする。細かい部分がまだわからない部分があるので、また説明したい。プレミアム付き商品券についても、市町で決定できる部分もあるので、協力体制得ながらやっていきたい。

戸栗委員 空き店舗調査のことだが、毛利先生の考える空き店舗が増えてしまう原因は何なのか。高齢化等いろいろとあると思うが、もし話を聞いていたら教えてほしい。

事務局 現時点では調査報告をもらっただけの段階で、まだ詳しい話が聞けていない。

戸栗委員 毛利先生は他の自治体でもやっているのか。

事務局 全国各地で行っている。自治体の特徴に合わせていい方策を考えていきたい。

事務局 来年度はこの結果を踏まえて、御殿場で合う事例を調査していきたい。

戸栗委員 高校生が将来住みたくないと言っているのはショック。自分の世代

のときには、地元でいたいという人がもっと多かった気がする。

芹澤委員長 市で空き店舗の対策事業というのではないのか。

村松委員 空き店舗対策は現状ない。空き家対策は協議会が最近立ち上がった。

芹澤委員長 空き店舗対策も考えていかないといけない。これからもっと空き店舗が増えていくということだから。新天地の真ん中にショッピングモールのようなものができたらいいと思う。

3 議事 (進行：委員長)

(1) 今後の協議・検討事項について…資料 3-3、3-4

(説明：事務局)

(質疑等)

芹澤委員長 前回、意見の提出をお願いしたが、どうか。

大川副委員長 高校生が地元で就職をしたくないという話が出たが、これからは担う世代向けに、中小企業と教育委員会で協力して何かできないか。あと、高齢者人材と企業とのマッチングができないか。災害対策ではなく、企業が事業を継続していくためのBCPも重要。専門家派遣制度や県の補助金などもあるが、ISOを取得しなければいけなかったり、かなりハードルが高く、またお金がかかる。

芹澤委員長 高校生の就職について、以前高校の進路指導担当の先生と話をしたが、各企業を生徒が見に行きたいが、なかなか機会がなく困っていると聞いた。受け入れてくれる企業があれば、高校に連絡もらいたいということをやっていた。

大川副委員長 インターンシップを受け入れてもいいが、特に話も来ないからやっていないという会社もある。

芹澤委員長 お互いに待っているという状況になってしまっている。

戸栗委員 どこに話をしたらいいのか分からない。

勝又委員 中学校ではやっているのでは。

勝亦委員 職場体験は中学2年生がやっている。

勝又委員 弊社の場合は2年ほど前に職場体験で来た生徒が就職したいということで、実際に就職してくれた。

大川委員 一度来てくれればそういうこともある。

勝亦委員 各学校がバラバラに受け入れ先を探している状況。情報があればいろいろと調整することができるのでは。

大川副委員長 同友会でもそういうことをやっという話が出るが、なかなか

か突破口がない。

芹澤委員長 お互い窓口が分からない。企業側もわざわざ来てくれとは言えない。

勝又委員 学校側としては、時期的にいつ頃がいいかあるか。

勝亦委員 学校によってまちまちだが、秋口が多いと思う。企業によっては、この時期は忙しいという話も聞く。

大川副委員長 自ら手を挙げなくても、頼まれたら受け入れるという企業もいっぱいあると思う。

勝亦委員 どこかで情報を一括して持っていればいい。

芹澤委員長 進路担当の先生に話を聞いたとき、かなり熱心だった。南高でも数%は就職する子がいるらしい。御高はかなり就職率が高いらしい。

勝又委員 御高は就職率100%。地元ではなく、よそへ行ってしまう。

大川副委員長 就職してからの離職率も高いようだ。

勝又委員 今の若い人の傾向かもしれない。

大川副委員長 商工会でBCPのセミナーに参加した。

芹澤委員長 BCP策定には結構お金がかかる。

大川副委員長 組合の場合は中央会であると思うが、中小企業でもBCPを策定すれば信用保証協会の融資枠が2億円広がる。

芹澤委員長 外国人労働者は市内にどれくらいいるか分かるか。

事務局 外国人の人口は市内に約2000人いる。年齢構成が分からないが、日本人と同じくらいの就業者数と考えれば概ね検討はつく。

芹澤委員長 これからもっと増える可能性がある。

事務局 増えてくると思う。首都圏だとコンビニ等でもほとんど外国人労働者という状況もある。市内企業でも外国人労働者の受け入れを考えていく時期になってきているのかと思う。

芹澤委員長 外国人に日本での生活を指導するような学校ができていると聞く。そのような流れがだんだん来るのかもしれない。

戸栗委員 増えてくるかもしれない。

事務局 アンケートの実施について、BCPや外国人材受け入れについて盛り込んで行いたいと思うがいかがか。

大川副委員長 各団体で呼びかけを行ってアンケートを取ればいい。

芹澤委員長 高齢者の雇用を考えているかなど聞いてもいいかもしれない。一度アンケートの案を作ってほしい。

事務局 出た意見を踏まえてアンケートの案を作る。でき次第郵送するので、意見があればまた連絡をいただきたい。

(質疑終了)

アンケートを事務局で作成して、内容について委員に書面協議を行うこととなった。アンケート実施・集計後、平成 31 年度第一回会議を開催する予定。

4 事務連絡

- ・ 次回開催日時について 5 月頃の予定（アンケート集計後）

5 閉会